

体験ひろば☆ こどもスペース四日市 子育て応援新聞



発行：NPO法人体験ひろば こどもスペース四日市
〒510-0961 四日市市波木町2040-2
TEL&FAX 059-321-0883
e-mail space@m4.cty-net.ne.jp



Instagram 始めました



facebook 更新中

長期休み恒例

宿題やつつけ講座

12月25日
こどもスペース事務所



背中からも真剣さが
伝わってきました。

小学生の自然体験 トムソーヤの森の家

12月24日 南部丘陵公園 栗の木林



寒さのあまり、初めて
火おこしをした、女子
3人です。

この日Mくんは
火おこしから調理まで



Mくんいわく
今までのご飯の中で
一番美味しかった！

2023

明けましておめでとうございます

今年もよろしくお祈りします

スペースカフェ

12月16日 こどもスペース事務所
クリスマス前の寒空の下、ランチ
やお茶・買い物を楽しむ人の姿が見
られました。



子どもたちがにぎやかに遊んでいるそばで大人の方々が、会話を楽しむ。スペースではよくある光景ですが、子どもも大人もほどよい距離感で自分たちなりに楽しんでいる姿が印象的でした。コロナ禍を経て、改めて幅広い世代の人が集えるスペースカフェの魅力を感じたひと時でした。2022年も1年お疲れ様でした。



チャイルドライン 募金活動

12月10日 近鉄ふれあいモール

「チャイルドライン」は子どもの心を受け止める18才までの子どもの専用電話です。子ども達の社会参加の一環として、毎年募金活動を行っています。



「頌春」
春とはいえ、さして目出たこともなく、先進国か？というくらい何年度かの感染のピークを迎えた感染症にまだ打つ手もなし。食べ物もなく暖房もない、生活するのにやっとなという国民、「子ども」という希望を見失っている人々。増税なのか借金か、見通しのつかないお金を出して買った軍備は本官に役に立つのだろうか、かの国のように、戦いに行く若者はいるのだろうか？と不安はつのる。買うと決めた人がそれで戦うのではなく、自分たちが戦いに赴く、と若者は知っているのだろうか？今更だけど、第一次世界大戦後の平和への誓いは忘れただろうか。なぜ平和への道筋をつける先鞭となる努力をしないで、戦闘的な言葉のみを投げかけ、私たちが巻き添えにするのだらうか。つくづく情けない国だと思ってしまう。
しかし希望はある。大多数の国民は素晴らしい。だから私たちは世界の人々から見捨てられないし、日本はいい国だと言ってもらえる。そつた、もう国（政治家）になんか頼らない。周りの人と手を携え、灯りをともし、みんな幸せになろう。
鬱ぎみの冬休み、ひたすら家にこもって考えていた。悔しいけれど、税金も払い、国民健康保険の保険料も払ってきた。そのお金の使い方に不満はない。ただ、ただ忘れてやる。
そして、子どもたちには、「未来は希望がある、自分の手でつかみ取れ！」と言ってやりたい。「そのための言葉を持って！言葉を闘わせよ！」。そのために本を読め！文を書け！。僅かばかりの金を投げつけ、思い通りになると、国民を見くびっている大人に騙されないために。
子どもたちよ、賢く生きよ！
(水谷)

ありのまま
ストーリー